

第 27 回中国大学生「走近日企・感受日本」 訪日団報告書の刊行にあたって

本書は、中国日本商會が実施する「走近日企・感受日本」事業の第 27 回訪日団報告書です。

本事業は、會員からの寄付金を原資に當會が中国人大學生を訪日視察へ招待派遣するもので、第 1 回が実施された 2007 年から今回までの間に合計 33 大学 815 名の學生が参加しました。

第 27 回訪日団は、2024 年 11 月 27 日から 12 月 4 日までの 8 日間、5 大学（清華大学、北京師範大学、對外經濟貿易大学、中国石油大学、北京語言大学）から選抜した 25 名で編成され、各訪問先において貴重な交流と体験をし、無事に終了いたしました。

このたびの訪日では、京都、東京で島津製作所、ホテルニューオータニ東京、住友商事、みずほ銀行、ソニーの當會會員企業 5 社を訪問させていただいたほか、京都大学、一橋大学における日本の大學生との交流、中国大使館訪問、京都の名勝や日比谷松本楼の視察、一泊二日の日本の家庭へのホームステイ体験など、多彩なプログラムを実施しました。ホームステイの受入れにご協力いただいた企業数は 11 社にのぼっております。

このように、本事業は當會會員企業の多大なる協力の下に実施されています。これまでに協力いただいた視察先は 64 機関、交流大学は 10 校、ホームステイのホストファミリーは延べ 594 家族にのぼります。また、共催団体である中国日本友好協會に全面的なご協力をいただくとともに、一般財団法人日中經濟協會、中国友好和平發展基金會と公益社団法人企業市民協議會（CBCC）に適切な寄付金の管理を行っていただいております。改めて、本事業の実施にご支援、ご尽力をいただいているすべての関係者に厚くお礼を申し上げます。

本事業は、2020 年に発生した新型コロナウイルス感染拡大により中断を余儀なくされたものの、2023 年秋に再開することができました。今回派遣した 25 名の學生は、日本の企業活動や文化等に強い関心を持ち、引率者が声を掛けないとずっと続くのではないかと思うほど、行く先々での交流が極めて活発だったと聞いています。本事業に参加した中国の大學生、および彼らと交流した日本の大學生たちが、将来、日本との交流の懸け橋となり、さらに日中兩國間の更なる交流促進のために活躍してくれることを、我々、中国ビジネスに関わる企業としても、心より期待しております。

中国日本商會としては、今後も、様々な取組を通じて、次代の中国を担う若者の日本との交流と理解促進を図ってまいり所存です。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中国日本商會 會長 本間哲朗

2024年12月